

防災名簿「防災あんしん調査票」の発行



【平和が丘学区】

■世帯数：2,342 世帯

■人 口：5,403 人

■面 積：0.790 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- 地震などの災害に備え、地域住民の安否確認、救命救護、救援物資、義援金などの資料として、また災害時要援護者を事前に把握するため、平成 16 年度より全世帯を対象に「防災あんしん調査票」を作成している。平成 23 年度には 86.2%の回収率となった。毎年更新し、回収した調査票は自治会長が管理し、前年度分は溶解廃棄している。
- 家庭でできる防災の講習会（布草履、防災頭巾づくり、ロープ活用術）、ビデオ鑑賞会などを開催し住民へ PR をしている。
- 地域密着型防災訓練時には「防災あんしん調査票」をもとに避難確認シミュレーションを行うほか防災講話を開催。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、「防災タイムズ」年 4 回発行

【アピールポイント】

防災あんしん調査票をもとに安否確認の仕組みを構築。
個人情報については、本人の賛同を得て提出してもらう。
調査票は組別にファイルし、自治会長が責任を持って管理する。
調査票は毎年更新し、前年度分は回収して溶解廃棄している。

2 きっかけ、背景

平和が丘学区は閑静な住宅地で、工場・商業施設がほとんどないため、日中の人口は3分の1に減少し、災害の発生時には混乱が生じると懸念されていた。阪神淡路大震災の教訓から地域の防災活動の強化および安否確認手段が必要と提案され、学区内に防災対策委員会を設立した。

3 実施の体制

運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、消防団員 計約 12 人

4 実施のスケジュール

H15 年5月 学区連絡協議会内に地震対策委員会を設立、名簿の作成を検討

(毎年) 7月 防災あんしん調査票を全戸配布し、8月に回収

H19 年10月 住民の防災力をさらに高めるため、「防災タイムズ」発行開始

H23 年5月 年度初めに各自治会長へ防災関連説明会を実施

9月 防災あんしん調査票の回収率 86.2%を達成

区	町	丁目	番	号	住居の種類	家族構成	希望する防災活動	災害時の連絡先	備考
1	1	1	1	1	○管理棟	○住居			
2	1	1	1	1	○管理棟	○住居			
3	1	1	1	1	○管理棟	○住居			
4	1	1	1	1	○管理棟	○住居			
5	1	1	1	1	○管理棟	○住居			

5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民を対象にした防災力強化活動を実施するとともに全戸配布の「防災タイムズ」を発行し、住民の防災に対する意識が高まった。

(2) 苦労した点

一部の住民、団体から名簿作成に伴うプライバシーの問題の指摘があり、適切に管理していくことを理解してもらうことに大変苦労した。

(3) 今後の課題・展望

自治会の未加入世帯への働きかけや集合住宅の社員寮や不動産管理会社が管理する世帯の自治会への加入促進が今後の課題である。

(4) メッセージ・アドバイス

住民のプライバシーに関わるため、実施のPR、調査票の利用および管理要項の明確化が必要。